第2号様式

令和3年度　指定管理業務総括評価票

施設担当課:　健康福祉部　子育て支援課

施　設　名	三沢市立松原児童センター
指定管理者名	社会福祉法人　三沢市社会福祉協議会
指　定　期　間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1. 施設利用状況

指標	当該年度数値	前年度数値	増減理由等
利用児童数 （登録児童）	14,215人	15,279人	新型コロナ感染予防対策を継続の中、登録児童数が、昨年より少なくなったため利用人数が、1,064人の減となりました。
利用者数 （登録外利用）	225人	245人	新型コロナ感染予防対策のため、前年度の4月、学校が休校となり児童支援の先生の利用があった分が減ったため20人の減となりました。
合計	14,440人	15,524人	1,084人の減

2. 収支状況

収入科目	金額（千円）	支出科目	金額（千円）
指定管理料・障害児受入	15，071	人件費	13，038
利用料金	3，306	事業費	1，637
補助金・助成金等	1，219	事務費	1，495
繰越金	2，475	その他	
雑収入	9	職員応援給付金	300
合計（①）	22，080	合計（②）	16，470
		収支差額（①－②）	**5，610**

3. 総合評価に対するコメント

指定管理者	昨年に引き続き、新型コロナ感染予防対策として、遊戯室にもテーブルを並べ、座って活動出来る場所としました。密を避ける工夫をしながら、少しずつ行事や製作クラブ等行いました。安全確保のため、換気、手洗い・消毒・マスクの着用を徹底するように、その都度児童への指導を行いました。 運営面は、地域のボランティアや隣接の老人施設への訪問はできませんでしたが、児童が作った作品を代表者が直接手渡しすることができました。 また、予算は協定に基づき適正に収支いたしました。
施設担当課	. 新型コロナウイルス感染症の対策を徹底しつつも、児童センターの設置目的に沿った適切な運営がされています。 活動内容も、以前のようにとはいかないものの、地域との繋がりを閉ざさない工夫がみられるため今後も継続していただきたい。 行事等についても状況をみつつ実施していく回数を増やしていくことで、児童にとって満足いく施設運営を継続していただきたい。

4. 総括評価シート

評価項目		施設担当課評価	指定管理者評価
サービスの提供	開館日、開館時間、使用期間等は守られているか。	S	S
	利用者への接遇、服装、サービス等は適切か。	A	A
	利用者に不平等が無いよう対応しているか。	A	A
	利用料の徴収、減免手続き等は適正に行われているか。	A	A
	情報公開、個人情報の保護等は適正に行われているか。	A	A
	苦情や要望等に対して適切に対応しているか。	A	A
	施設の目的に合致したサービス・事業を行っているか。	A	A
施設の維持管理	事業計画書、基準書等を遵守した管理を行っているか。	A	A
	適正な人員配置及び管理体制となっているか。	A	A
	報告書の提出等、市への報告は適切に行われているか。	A	A
	事故、災害、救急時等の体制が整備されているか。	A	A
	外部委託の内容は適切であるか。	A	A
	設備、備品の管理、保守管理等は適切に行われているか。	A	A
	修繕は適切に行われているか。	A	A
	省エネルギー、省資源等への配慮がなされているか。	A	A
経費等	収支予算書と比較して収支状況は妥当であるか。	A	A
	経費は縮減され、または縮減に向けた努力は行われているか。	A	A
	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っているか。	A	A
総合評価		A	A

※総括評価シート区分

①評価項目

S	協定書、基準書等の遵守等に加え、より優れたサービスが提供されている。
A	協定書、基準書等の沿った適切なサービスが提供されている。
B	概ね協定書、基準書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある。
C	協定書、基準書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある。

②総合評価

S	評価項目が全てA以上かつ半分以上がSである。
A	評価項目が全てA以上である。
B	評価項目にBが含まれている。
C	評価項目にCが含まれている。

令和3年度　指定管理業務総括評価票

施設担当課：　健康福祉部　子育て支援課

施　設　名	三沢市立　木崎野児童クラブ
指定管理者名	社会福祉法人　三沢市社会福祉協議会
指　定　期　間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1．施設利用状況

指標	当該年度数値	前年度数値	増減理由等
利用児童数 （登録児童）	9，485人	10，038人	前年度より登録児童が10名程少ない事と土曜日利用数が極めて少ないことが減少につながった
利用者数 （登録外利用）	440人	435人	前年度と同様、地域との交流事業がなく、平均的な利用人数となった事で前年とさほど変わりない数値となったと考えられる
合計数	9，925人	10，473人	前年と比較し548人の減少

2．収支状況

収入科目	金額（千円）	支出科目	金額（千円）
指定管理料・障害児受入	12，307	人件費	13，000
利用料金	2，076	事業費	1，561
補助金・助成金	1，051	事務費	1，368
繰越金	1，117	職員応援給付金	300
原子力給付金	9	合計（②）	16，229
合計（①）	16，560	**収支差額（①－②）**	331

3．総合評価に対するコメント

指定管理者	今年度もコロナ感染拡大防止の措置により地域との交流は中止となり残念だったが、地域の方に「今度開催される時を楽しみに・・・」と便りを出し、子ども達も地域の方との交流を心待ちにしている様子を実感した。コロナ感染防止対策に関しては、毎日のおもちゃの消毒作業の他、子ども達には館内活動でのソーシャルディスタンスをお願いし遊びは2～3人で、おやつや全日指導の昼のお弁当などでは、黙食を約束し、子ども達も守ることができた結果、何事もなく年度を終えることができたと感じる。 農園クラブや工作クラブ・ボランティアクラブは、1回あたりの人数制限を設け、回数を増やし、参加希望児童が全員参加できる通常通り実施することが出来た。子ども達が育てた野菜は保護者の方にも好評だった。年間行事の「おみせやさんごっこ」や「おたのしみ会」などは、内容を密にならないように変更し個人でも楽しめる様に工夫・趣向をこらし参加した子ども達は楽しんでくれた様子だった。 令和3年度は利用人数こそ少なかったが、全体的に大きなトラブルもなく穏やかに過ごすことができた1年だった。

施設担当課	新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、事業内容を変更し、感染対策と児童の活動内容のバランスをみながら考えられた運営がされています。 　地域の方の声からも行事の内容の充実さが伺えます。新型コロナウイルス感染症の影響で、満足いく形での実施は難しいかもしれませんが、今後も感染対策を徹底し、行事等の実施方法等を工夫することで、充実した行事等が提供されていくことを望みます。

4. 総括評価シート

評価項目		施設担当課評価	指定管理者評価
サービスの提供	開館日、開館時間、使用期間等は守られているか。	S	S
	利用者への接遇、服装、サービス等は適切か。	A	A
	利用者に不平等が無いよう対応しているか。	A	A
	利用料の徴収、減免手続き等は適正に行われているか。	A	S
	情報公開、個人情報の保護等は適正に行われているか。	S	S
	苦情や要望等に対して適切に対応しているか。	A	A
	施設の目的に合致したサービス・事業を行っているか。	A	A
施設の維持管理	事業計画書、基準書等を遵守した管理を行っているか。	A	S
	適正な人員配置及び管理体制となっているか。	A	A
	報告書の提出等、市への報告は適切に行われているか。	A	A
	事故、災害、救急時等の体制が整備されているか。	S	S
	外部委託の内容は適切であるか。	A	A
	設備、備品の管理、保守管理等は適切に行われているか。	A	S
	修繕は適切に行われているか。	A	A
	省エネルギー、省資源等への配慮がなされているか。	S	S
経費等	収支予算書と比較して収支状況は妥当であるか。	A	S
	経費は縮減され、または縮減に向けた努力は行われているか。	A	A
	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っているか。	A	S
総合評価		A	**S**

※総括評価シート区分

①評価項目

S	協定書、基準書等の遵守等に加え、より優れたサービスが提供されている。
A	協定書、基準書等に沿った適切なサービスが提供されている。
B	概ね協定書、基準書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある。
C	協定書、基準書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある。

②総合評価

S	評価項目が全てA以上かつ半分以上がSである。
A	評価項目が全てA以上である。
B	評価項目にBが含まれている。
C	評価項目にCが含まれている。